

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	愛知室内オーケストラ母の日ファミリーコンサート 2013
日 時 / 場 所	平成 25 年 5 月 12 日(日) 14 時開演 森のホール
事 業 の 種 類	提携事業
出 演 者	演奏:愛知室内オーケストラ 語り:岩本やよい
内 容	ヴィヴァルディ四季より「春」第1楽章、ボロディン/イーゴリ公より「ダッタン人の踊り」、オリジナル音楽物語「3つのお願い」(イベール/室内管弦楽のディヴェルティメントほか)ほか
席 設 定	595 席
入 場 者 数	283 人
入 場 率	47.56%
チケット発売日	一般 2 月 11 日(土) フレンズ会員 2 月 4 日(土)
チケッとの種類及び価格	一般:1,500 円、学生:1,000 円、親子ペア券 2,200 円 全席自由
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生の室内楽に子どもとふれあう機会がもてて良かったです。5歳の子もおはなしや短い楽曲は楽しめました。 ・子どもが、舞台までのぼることができ、大変喜んでいました。 ・公園などでのアウトドアでの演奏も聴きたいです。
モニター評価	なし
担当者コメント	<p>今回も昨年に引き続き、親子を対象とした演奏会を行った。サブタイトルを「お母さんありがとう！オーケストラによる音楽の花束」とし、劇と演奏をおりませた形で行った。開演前にロビーコンサートを行ったり、公演途中で子どもを舞台上げて指揮者体験をさせるコーナーを設けたり、いろいろな仕掛けをし、会場を賑わせていた。</p> <p>ただし、来場者数は芳しくなかった。楽団、会館ともに、広報活動は例年どおり行ってきたが、昨年と比べ来場者は10%ほど減少した。要因として、類似した親子向け事業を続けたことで、客の関心が薄くなってしまったことが考えられる。次回以降に向け、企画の検討が必要である。</p>
備考	13:30 からホワイエにてロビーコンサート開催(出演は、愛知室内オーケストラから4名)

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	柴田三兄妹公演「さあ、元気にいきましょう！」
日 時 / 場 所	平成 25 年 5 月 24 日(金) 18 時 30 分開演 風のホール
事 業 の 種 類	提携事業
出 演 者	柴田三兄妹(柴田雅人、佑梨、愛)
内 容	三味線公演(三彩、津軽(愛)、津軽(佑梨)、津軽(雅人)、会津磐梯山、大漁唄い込み、いのちの森、taps、昇龍、ADVANS、えにしよひろがれ、津軽じょんから節、夢への一步)
席 設 定	280 席
入 場 者 数	155 人
入 場 率	55.36%
チケット発売日	一般 4 月 13 日(土) フレンズ会員 4 月 6 日(土)
チケッとの種類及び価格	[前売] 一般:1,500 円、フレンズ 1,300 円 [当日] 一般・フレンズ 2,000 円 全席指定
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・三人とも若くて元気で、聴いている私が「青春気分」になっちゃいました。(女性) ・民謡歌も聞けて良かったです。演奏はもちろんですが、歌も楽しめました。(69 歳/男性) ・雅人さん、MCがこんなに上手だとは思いませんでした。おもしろかったです。
モニター評価	なし
担当者コメント	<p>三兄妹は全員 20 代という若さながら、津軽三味線全国大会合計 39 回優勝という肩書きのあるとおり実力は確かで、来場者アンケートでは称賛の声が多数であった。演奏プログラムは、東北地方の伝統曲はもちろん、兄妹それぞれのオリジナルソロ曲やコンビ曲、姉妹による歌唱もあり、観客を飽きさせずに 2 時間を駆け抜けた。また、観客を魅了したポイントとして、長男雅人氏のMCの上手さが大きかったように感じた。宮城県を中心に活動する彼らは決して長久手で知名度が高いとは言えないところを、まずトークでしっかりと観客の心をつかむことで、公演を良い雰囲気へと導くことができたのだと思う。終演後のサイン会・握手会でも常に笑顔を絶やさず、終始生き生きとした公演となった。</p>
備考	

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	自由演奏会 in ながくて
日 時 / 場 所	平成 25 年 5 月 26 日(日) 公開リハ 10 時 30 分 コンサート 15 時 森のホール
事 業 の 種 類	提携事業
出 演 者	指揮者 堺 武弥 市内外の一般参加者 178 名
内 容	「エル・クンバンテェロ」 「オーメンズ・オブ・ラブ」 「女々しくて」 「星条旗よ永遠なれ」 「レイダースマーチ」 「ビリーブ」 「In the Hearts of Lords and Warriors」 「クーテシガーナ」(長久手応援ソング)
席 設 定	276 席
入 場 者 数	135 人
入 場 率	48.91%
チケッ発売日	一般 3 月 9 日(土) フレンズ会員 3 月 2 日(土)
チケッの種類及び価格	[前売・当日] 演奏参加費 一般:1,500 円、高校生:1,000 円、中学生以下:無料 公開リハーサルの見学、コンサートの鑑賞は無料 全席自由
鑑賞者評価	とても楽しかったです。(女性・市外) とても良かった(10代・女性・市内)
モニター評価	実施せず
担当者コメント	自由演奏会 in ながくて実行委員会が主催する提携事業。 年齢・経験年数・演奏レベルなどの枠を超え、音楽と楽器が好きな方なら誰でも自由に参加できるバリアフリーなコンサート。楽器がずっとさみしく押入れて眠っている方や最近楽器を始めたばかりの方などがこの機会に楽器演奏を通じ、多くの仲間と出会い、共に奏でる喜びと感動を共有していただくことを願い企画された。 全国で開催されている自由演奏会、長久手市ではどれくらい演奏者があつまるのか不安であったが、178名の演奏者が集まり上手に広報活動ができたと思う。 公開リハーサルから、コンサートまで、いつでも自由にお客様が鑑賞でき、また、コンサートでは、会場全員で合唱や、指揮もこどもが行うなど楽しめる事ができた。 鑑賞するお客様がもっと来てくれるような広報活動することが今後の課題となる。
備考	

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	長久手フィルハーモニー管弦楽団第 19 回定期演奏会
日 時 / 場 所	平成 25 年 6 月 2 日(日)開演 森のホール
事 業 の 種 類	提携事業
出 演 者	長久手フィルハーモニー管弦楽団、今村能(指揮)、斉藤浩(ツインバロン)
内 容	ドヴォルザーク 交響曲第7番ニ短調作品 70 コダーイ ハーリーヤーノシュ組曲 ボロディン イーゴリ公序曲
席 設 定	723 席
入 場 者 数	600 人
入 場 率	83.0%
チケット発売日	一般 3 月 9 日(土) フレンズ会員 3 月 2 日(土)
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	[前売] 一般:800 円、フレンズ 700 円 [当日] 一般・フレンズ 1,000 円 全席自由
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・打弦楽器ツインバロンの演奏初めて聴きました。感動しました。(60 代/男性) ・指揮が個性的で分かりやすく、個性があった。(60 代/女性) ・明るい曲が聴きたいです。あと、ファミリーコンサートをもう 1 度やってほしいです。(10 代/女性) ・もっとポピュラーな曲をやってほしかった。(60 代/男性)
モニター評価	なし
担当者コメント	<p>著名な指揮者、珍しい楽器、手軽なチケット料金、ということがあり、高い入場率となった。アンケートの中で「初めて文化の家に来た。」という内容のものが多くあり、アマチュアオーケストラながらも新規顧客を集める力を持つ楽団を、心強く思う。</p> <p>指揮の今村能氏はコンサート中、座り込んだり、指揮棒を振らずに立ちつくしたり、非常にユニークな指揮をし、観客の心をも指揮するかのような表現力であった。また、アンケートにも多数表れているとおり、今回は「ツインバロン」という珍しい楽器が登場し、さらに観客を魅了した。</p> <p>選曲については賛否両論あるが、「もう少しポピュラーな曲を」という声が目立った。</p>
備考	当日、託児サービス実施(会議室 2、3。主催者手配)

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	エデュケーション・プログラム であーと 2013
日 時 / 場 所	平成 25 年 6 月 5 日(水):南中学校 11 日(火):長久手中学校 25 日(火):北中学校
事 業 の 種 類	育成事業
出 演 者	倉田大輔(ドラム/パーカッション)、砂掛康浩(ギター)、後藤浩二(ピアノ)、徳田智史(ベース)
内 容	1:サテンドール(デューク・エリントン) 2:チュニジアの夜(アントニオ・カルロス・ジョビン) 3:虹の彼方に(ハロルド・アーレン) 4:シージャムブルース(デューク・エリントン)※ワークショップで使用 5: ドナリー(チャーリー・パーカー) 6:A列車で行こう(ビリー・ストレイホーン)
参 加 者 数	南中学校 1 年生:206 人(6 クラス)、長久手中学校 1 年生:127 人(4 クラス)、北中学校 1 年生:173 人(5 クラス)
鑑賞者評価	<p>鑑賞者評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演奏しているみなさんがお互いの顔を見ながら、笑顔で息ぴったりな演奏しているのがよかったです。(多数) ・今日のみなさんの演奏をきいてみて体が自然とリズムにのってきても楽しくてもりありがとうございました。(多数) ・楽譜があるのかなと思っていたら、アドリブで演奏していると聞いて驚きました(多数) ・目の前でプロの人が演奏してくれることはこれまで一度もなく、とても貴重な体験ができたのでとても楽しかった。(多数) ・1つ1つの楽器が重なって、音楽ができるのを生で聴いて知ることができて鳥肌がたちました。(南中・女子) ・音楽の時間、何も持ってこなくていいと言われなにするのかな~と思ったら生演奏をいきなり聞けてびっくりしました。とても貴重な時間でした。(長久手中・女子) ・給食のときも来て下さって、今までで一番楽しい給食の時間でした。(長久手中・女子) ・紹介のとき、名古屋や長久手出身の人がいて、近くにこんなすごい人たちがいると知ってうれしかったです。(北中・男子) ・初めてジャズを聴きました。そして、ジャズのイメージが変わりました。「あまり難しく聴くものではないのだ」と思いました。(北中・男子)
モニター評価	<p>モニター評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に密着した内容でとてもよかったです。ジャズに初めて接した子どももいたと思いますが、わかりやすくのりやすく展開していてよかったです。 ・このようなすてきな事業があることを長久手に住んでいながら知りませんでした。可能性をいっぱいもった子どもたちの可能性をさらに開かせるのが大人の役割だと思います。 ・生演奏を聴く機会を与えることは大変良い企画です。子どもが多く音楽に出会うことにより将来への選択肢が広がります。演奏とトーク、参加し一緒に楽しむ等良かったと思います。
担当者コメント	<p>担当者コメント</p> <p>2005 年から展開し、今回で 9 回目となったであーと。今までの 2 校に加え、今年度は 4 月に新設された北中学校でも実施した。出演はドラムの倉田大輔氏ほか 3 人。倉田氏は昨年引き続き出演した。広いホールや体育館ではなく、音楽室で行うことによりアーティストをより間近に感じられることが大きな魅力の 1 つである。アンケートからも、間近であるからこそ感じられるアーティストの息遣い、ジャズの魅力を子どもたちが十分に受け取ることができたと思われる。</p> <p>今後もであーとの言葉の意味(「出会う」+「アート」)のとおり、子どもたちがアートに出会う機会を積極的に作っていきたい。</p>
備考	

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	coba produced フェスタ長久手 2013 歌おう！踊ろう！味わおう！発信！長久手市民の文化祭
日 時 / 場 所	平成 25 年 6 月 29 日(土) 6 月 30 日(日) 館内各所 (ライブ:6 月 30 日(日)15 時 森のホール)
事 業 の 種 類	自主創造活動事業
出 演 者	coba、天野清継、JIGEN、山内陽一朗、藤田善宏、落合務、片岡護、文化の家創造スタッフ、長久手応援ソングひろめ隊、市民コンサート有志一同
内 容	coba Special Live(30 日)、パスタを味わおう(29 日、30 日)、マルシェ長久手(29 日、30 日)、市民・創造スタッフコンサート(29 日)、coba×落合務トークセッション(29 日)
席 設 定	595 席
入 場 者 数	481 人(30 日ライブのみ)、5,000 人(フェスタ全体(30 日ライブ含む))
入 場 率	80.84%(30 日ライブ)
チケット発売日	一般 4 月 13 日(土) フレンズ会員 4 月 6 日(土)
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	[前売] 一般:5,000 円、フレンズ 4,500 円、中学生以下:3,000 円 [当日] 一般・フレンズ 5,500 円、中学生以下 3,500 円 全席指定
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・応援ソングやダンス等を全面に押し出しすぎで少し残念、と思いつつ、楽しめました。(60 代/女性) ・客の年齢層が高すぎる。(50 代/女性)
モニター評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の公演が高い水準で成功したからといって、今後どの公演も同様の成果を求めたり、目標を設定してはいけない。 ・今回のようなものもあっても良いという捉え方をしたい。大きく盛り上がりなくとも大切な公演はある。 ・長久手応援ソングを初めて知りました。今まで存在すら知りませんでした。
担当者コメント	<p>長久手応援ソングひろめ隊メンバーの応援ソングにかける気持ちの強さを感じた。</p> <p>有名シェフ→ライブという購買意欲には繋がらなかったと判断できる。しかし、普段文化の家を訪れない人が開館 15 周年記念イベントに参加できたことは、大きな成果である。</p> <p>マルシェは文化の家活性化の一手段となる可能性がある。</p> <p>回収率も重要だが、周年記念事業・市民の文化祭という今回においては、考慮すべきであった。</p> <p>チケット販売のために、広報の手段と可能性を模索し、実行した。今後も検討していくべきである。</p> <p>クーテングーナに振付がついた。今後のまちづくりに活用されていくことを期待する。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・パスタ:870 名 (内訳)6/29 約 370 名、6/30 約 500 名 いずれも 1 食 500 円。 ・市民・創造スタッフコンサート、coba×落合務トークセッション:250 名 ・長久手応援ソングひろめ隊(ダンス隊含む):70 名

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	2013ジョイントフェスティバル愛知 シアターマダムバツハ「ウインド～風～」
日 時 / 場 所	平成 25 年 7 月 19 日(金) ①13 時 30 分 ②16 時 30 分 風のホール
事 業 の 種 類	普及・啓発事業
出 演 者	シアターマダムバツハ
内 容	演劇
席 設 定	60 席
入 場 者 数	① 53 人 ② 58 人(完売)
入 場 率	① 88.33% ② 96.67%
チケッ発売日	一般 5 月 11 日(土) フレンズ会員 5 月 4 日(土)
チケッの 種類及び価格	[前売] 一般:1,500 円、フレンズ:1,300 円、こども:800 円、セット:2,000 円 [当日] 一般・フレンズ:1,800 円、こども:800 円 全席自由
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもすてきでした。風や、まわりにいつもあるものがファンタジーだと気づかされました。(50 代/女性/市外) ・とてもやさしい時間を過ごすことができました。風が見えたようでした。(30 代/女性/市外) ・紙ふぶきが美しく感動しました。(市外)
モニター評価	<ul style="list-style-type: none"> ・初めての体験でした。こういう表現もあるのかと驚きです。もう少し見たい気がしました。 ・小さい子供達が多いのに驚きました。 ・子ども達も集中できていました。
担当者コメント	<p>ジョイントフェスティバル愛知は、文化の家企画委員長である安藤隆之氏の発案により、愛知県内の芸術活動が盛んな文化会館が連携し、地元の創造団体や若手芸術家の支援や発表の場の提供を目的として立ち上げたものである。初年度である本年度は、4市町(武豊町・豊川市・長久手市・西尾市)の参加となった。</p> <p>本公演は、4館合同で行うことのメリットを活かし、あまり招聘できない海外公演を合同で実施したものである。</p> <p>今回、デンマークのカンパニーのため、役者による公演中の語りは英語で行われ、直後に日本語で通訳が語りを行うという形式で行われた。しかし、幼児にとって、言葉が分からなくても、目に見えない「風」をさまざまな手法で表現するという内容が伝わりやすかったのか、訳される前から笑い声や感嘆の声があがっていた。また、風のホールの舞台上に客席を配し、少人数を対象としたパフォーマンスを間近で鑑賞するという贅沢な公演であった。特に、客席前方は、子ども用に座布団を敷いただけの栈敷席で、演技空間との境界線も特になく、手を伸ばせば役者に手が届きそうな距離であり、実際、山場で紙ふぶきが舞うと、身を乗り出したり、立ちあがったりして手を伸ばし、紙ふぶきを捕まえ喜ぶ姿があった。</p> <p>目に見えないものを表現するパフォーマンスから各々が受け取るものも、パフォーマンスの鑑賞の仕方も、子どもから大人まで、自由度の高い、感受性を刺激する作品であった。</p>
備考	7/15(月・祝)西尾市文化会館(西尾市)公演、7/17(水)ウィンディアホール(豊川市)公演、7/18(木)ゆめたろうプラザ(武豊町)公演

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	赤ヴァイオリンちゃんと、大きな悪いチェロ
日 時 / 場 所	平成 25 年 7 月 27 日(土) 15 時開演 森のホール
事 業 の 種 類	普及・啓発事業
出 演 者	澤田幸江(ヴァイオリン)、高木俊彰(チェロ/文化の家創造スタッフ)、たっくん(ピアノ)、小関道代(朗読/劇団ジャブジャブサーキット)
内 容	楽器紹介コーナー、たっくんの即興コーナー、イッサーリス脚本「赤ヴァイオリンちゃんと、大きな悪いチェロ」ほか
席 設 定	180 席
入 場 者 数	112 人
入 場 率	62.22%
チケッ発売日	一般 5 月 11 日(土) フレンズ会員 5 月 4 日(土)
チケッの 種類及び価格	[前売] 一般・フレンズ:1,000 円、こども 500 円 [当日] 一般・フレンズ:1,200 円、こども 500 円 全席自由
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・たっくんの即興コーナーが良かったです。(市外・40 歳代・女性) ・たっくんのトルコ行進曲でドラムが入るなど、変化があって子どもたちがひきつけられていました。即興もとても刺激になって、テーマを与えてもらったので、家でも実践してみたいと思います。赤ヴァイオリンちゃんもサイコーに良かったです。(市外・30 歳代・女性) ・小さい子も一緒に入れる公演が増えると嬉しいです。下の子どもを預けられず、上の子どもの鑑賞をあきらめることがたびたびあります。(市内・30 歳代・女性) ・赤ヴァイオリンちゃんが始まった途端、子どもが集中して聴き入っていました。(市外・女性)
モニター評価	<p>幼児に有料のコンサートは少し早いかも。小中学生が子ども同士で来れるように有料のコンサートを企画してはどうか？小学生以上に宣伝することに力を入れて。</p>
担当者コメント	<p>ジョイントフェスティバル愛知のうちの1公演。2010 年公演「子どものためのコンサート～オンガクのおとどけもの」で取り上げた「赤ヴァイオリンちゃんと、大きな悪いチェロ」を当時と全く同じキャストで再演。</p> <p>世界的チェロ奏者 S.イッサーリス脚本、A.ダドリー作曲の「赤ヴァイオリンちゃんと、大きな悪いチェロ」をメイン曲にし、子どもをターゲットに集客を行ったが伸び悩んだ。メイン曲の内容は音楽と演劇が一体となっており、子ども向けとはいえ質が極めて高かったため、公演全体の評価もアンケートによるとほとんどが「とてもよかった」となっていた。</p> <p>集客が伸び悩んだ原因の一つに「チラシから公演内容が分かりにくい」という点があげられる。長久手・武豊公演ともアンケートに「チラシを見ても内容がよくわからなかったが、実際に(公演を)観たらとてもよかった」という意見が見られた。公演の魅力が伝わりやすいチラシ作りも心がけたい。</p>
備考	翌 7/28(日)に同公演を武豊町民会館で行った。

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	長久手市内小学校金管バンド部交流コンサート
日 時 / 場 所	平成 25 年 8 月 1 日 (木) 11 時開演 森のホール
事 業 の 種 類	普及・啓発事業
出 演 者	長久手市立北小学校マーチングバンド部、長久手市立西小学校金管バンド部、長久手市立長久手小学校トランペット鼓隊 ゲスト:田口美郷(パーカッション/創造スタッフ)、三浦麻衣子(トロンボーン)
内 容	各小学校別の演奏、ゲスト演奏、合同演奏(西小学校、長久手小学校、ゲスト)
席 設 定	595 席
入 場 者 数	525 人(参加者 137 人、観客数 388 人)
入 場 率	88.24%
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	※チケット発売はなし。(参加校の保護者及び学校関係者のみに案内。) 全席自由
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・長久手の立派なホールで日ごろの練習の成果を発表させていただき、嬉しく思いました。ゲストの方々の演奏はさすがと思いました。(参加者保護者多数) ・合同演奏とてもよかったです。学校別より迫力があってすばらしかった。(市内・30 歳代・女性) ・他の小学校の演奏も聴くことができ良かった。これまで外や体育館でしか聴いたことがなく、(もちろん練習の成果もあったと思いますが)ホールの音の良さに驚きました。(市内・40 歳代・女性) ・毎年の行事にしてほしいです。(市内・女性)
モニター評価	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの発表の場を作るのは子どもたちにも家族にも嬉しいこと。他の学校とも交流ができるし、ゲストの音を聴いて士気も上がるし、良かったと思います。 ・小学校間の演奏の交流はとてもよかったです。競い合って賞をとるというのではなく、お互いが演奏を聴き合うこの会は今後も広がり続いていくとよいと思います。 ・3学校各々特色があったと思う。初めての交流であるが、他の小学校も含めて今後も継続されるといいなと思う。
担当者コメント	<p>文化の家では 2011 年度から市内小学校に地元アーティストを派遣し部活動の支援を行う、小学校吹奏楽巡回指導を展開してきた。今年度、小学校吹奏楽巡回指導の参加校からの「小学校の金管バンド部間で何か交流できるイベントができないか」という打診を受け、小学校吹奏楽巡回指導の関連企画として実施することになった。</p> <p>巡回指導を受ける 4 小学校のうち、3 小学校がコンサートに参加。演奏を聴き合ったり、合同演奏をしたりすることによって、学校の枠を超えた交流の場を作ることができ、今後の部活動に対する士気の向上を後押しすることができた。今後は参加校の増加を目指し、さらに交流の輪を広げていきたい。</p>
備考	

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	フレンズのつどい Part.29 東日本大震災復興支援 トランス・パシフィック・キャンペーン(TPC) 「あなたとともに翼にのって 八神純子チャリティーコンサート」
日 時 / 場 所	平成 25 年 8 月 3 日(土) 17 時開演 森のホール
事 業 の 種 類	住民参画事業
出 演 者	八神純子(Vo)、服部恭子(司会)、愛知淑徳高校・中学生(合唱)
内 容	Here I am、みずいろの雨、思い出は美しすぎて、Mr.ブルー～私の地球～、くじらの唄、パープル・タウン、復興チャリティーソング「翼」ほか
席 設 定	659 席
入 場 者 数	603 人
入 場 率	91.50%
チケッ発売日	一般 6 月 29 日(土) フレンズ会員 6 月 22 日(土)
チケットの種類及び価格	[前売・当日] 一般指定席:3,500 円、フレンズ指定席:3,000 円、 一般自由席:3,000 円、フレンズ自由席:2,500 円
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・何年たってもパワフルで清涼感あふれる歌声で圧倒されました。素晴らしい歌声に感動しました。(多数) ・チャリティーに参加している実感が持てる素敵な企画をありがとう。TPCも応援します。ボランティアの素晴らしさに感動です。(多数) ・見やすく雰囲気もよく、一体感があって優雅な時間を過ごすことができました。(多数) ・すばらしかったです。学生との合唱で涙が出ました。(60代/女性) ・チャリティーコンサートだったので参加しました。一過性ではなく続けることが大切ですね。(50代/女性) ・東北の支援を若い私も見習おうと思いました。一緒に東北の支援に参加したいです。(10代/女性) ・八神さんのコンサートは何度も観ましたが、いつもとは違うアットホームで身近な感じでとても楽しかったです。(40代/男性)
モニター評価	なし
担当者コメント	<p>公演の企画から運営までのほとんどすべてをフレンズスタッフが手掛ける恒例の「フレンズのつどい」。</p> <p>29 回目の今回は、トランス・パシフィック・キャンペーン(TPC)を立ち上げ被災地支援活動を行っている八神純子氏を招いてのチャリティーコンサートを企画し、コンサート事業の純益金を全額寄付することで被災地支援を行う公演趣旨に賛同した多くの方が来場した。</p> <p>みずいろの雨、思い出は美しすぎてなどのヒット曲から最新アルバムの楽曲までを織り交ぜた幅広い選曲で会場を沸かせた。被災地の状況や今までの支援活動を映像で紹介し、チャリティーソング「翼」を愛知淑徳中学・高校の学生コーラスとともに披露する一幕も。</p> <p>公演後の交流会では、出演者とフレンズスタッフが会食を楽しみながら有意義な時間を過ごすことができた。文化の家フレンズが今後もやりがいを持って魅力ある事業を続けていけるように支援していきたい。</p>
備考	

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	2013ジョイントフェスティバル愛知 劇座 動くリーディング「父と暮せば」
日 時 / 場 所	平成 25 年 8 月 17 日(土) 15 時開演 森のホール
事 業 の 種 類	普及・啓発事業
出 演 者	劇座(天野鎮雄、尾藤涼和)
内 容	演劇
席 設 定	107 席(完売)
入 場 者 数	107 人
入 場 率	100.00%
チケット発売日	一般 5 月 11 日(土) フレンズ会員 5 月 4 日(土)
チケットの 種類及び価格	[前売] 一般:2,000 円、フレンズ会員:1,800 円、学生:1,000 円 [当日] 一般・フレンズ会員:2,500 円、学生:1,000 円 全席自由
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・背負うべきものは背負い、目をそむけず、でも、前を向いて生きていこうと思いました。(20 代/男性/市外) ・とてもよかったです。8月6日の広島、9日の長崎、15日の終戦をよく知らない若者が増えるなか、ぜひ、伝えていきたいお話だと思います。(50 代/女性/市外) ・この作品はいろいろ観ましたが、今回のような型はよく、感動しました。(70 代/女性/市内) ・二人のやりとりがすごく良かった。迫力もあり、とても心に残りました。(40 代/女性/市外)
モニター評価	<ul style="list-style-type: none"> ・改めて戦争について考える機会になりました。 ・この「父と暮せば」は広島へ原爆投下後の物語の二人芝居であった。原作は井上ひさし、映画では黒木和雄監督、俳優は宮沢りえ、石田芳雄が演じていたが、今日の芝居はセリフによる情景の描写もわかりやすかった。 ・アマチンのコスチュームが芝居の時代からいえば上質すぎ違和感だが、こうしたことをこえて今の時代からさらに次の時代へ伝えていかねばならない尊いテーマ。それが 2 人の演技を通じてきちんと伝えられた素晴らしい舞台であった。8 月というタイミングで来年も、さらには 45 年 8 月から 70 年目の 8 月に再演していただきたい。
担当者コメント	<p>文化の家のこけら落とし公演を行った名古屋の老舗劇団「劇座」の公演であり、ジョイントフェスティバル愛知参加市町である武豊町、豊川市とともに開催した。</p> <p>「リーディング」としているが、舞台上では台本を持たず、巧妙に隠されたディスプレイに映し出されたものをたまに確認する程度であり、通常の演劇と遜色のない仕上がりであった。「リーディング」という言葉により本公演を敬遠した人も少なからず存在すると思われるので、チラシの表記や PR の仕方などに悔いが残る。</p> <p>戦後の広島を舞台とし、原爆で亡くなった父と生き残ったことに負い目を感じている娘の作品であるため、終戦記念日付近に各館とも公演を実施したが、お盆の時期は予定を立てにくいのか、直前までチケットの販売数が伸び悩んだ。結果として満足のいく集客であったが、戦争をテーマにしているなどあえてこの時期に実施する特別な理由がない限り、今後もこの時期の公演については慎重を期すべきであると感じた。</p>
備考	8/6(火)ウィンディアホール(豊川市)公演、8/7(水)ゆめたろうプラザ(武豊町)公演

長久手市文化の家自主事業報告書

企 画 名	愛知県立芸術大学メディアデザイン領域企画展 2013 「わたしがあなたにおくる花展」「学生映画上映会」
日 時 / 場 所	平成 25 年 8 月 22 日(木)～30 日(金) 展示室 10 時～20 時 光のホール(24 日(土)、25 日(日)のみ)12 時～17 時
事 業 の 種 類	提携事業
出 展 者	愛知県立芸術大学デザイン専攻メディア領域 学生ほか
入 場 者 数	「展示室」280 人 「光のホール」20 人
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	入場無料・整理券なし
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい気持ちになりました。ありがとうございました。 ・花というのは形が変わっても何か感じさせるものがあるのだなあと思いました。
モニター評価	なし
担当者コメント	<p>愛知県立芸術大学メディアデザイン領域4年生による恒例の企画展で今回が13回目の開催。</p> <p>今回の展覧会では、「花をおくる」という行為になぞって、愛知県立芸術大学の学生がそれぞれ想いを伝えたい「あなた」を一人選び、そこにある想いを「あなたにおくる花」として様々なかたちで作品に表現した。メディアデザイン領域の学生だけでなく、絵画や陶芸の学生も展示に加わり、専攻の壁を越えた作品展となった。</p> <p>光のホールでは、学生が2年前に自主制作した『蹉跎』という作品を上映した。直前まで上映会の内容が定まらず、ほぼ広報できなかつたことから、来場したのは大学関係者のみであった。</p> <p>今回の展覧会全体の問題は、大学としての作品展とは到底言えない状況であったことである。実態として、文化の家との連絡窓口になっていた企画者の学生1名以外、メディアデザイン領域の学生や教員はほとんど関与していなかつた。今一度、この展覧会のあるべき姿を考え直すことが必要である。</p>
備考	

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	2013 ジョイントフェスティバル愛知 劇団うりんこ公演 アリス
日 時 / 場 所	平成 25 年 8 月 24 日(土)15 時開演 森のホール
事 業 の 種 類	普及・啓発事業
出 演 者	和田紀彦、佐々木政司、高木秀樹、小木曾徳之、平山真由美、和田幸加、佐藤敦子、丹羽美貴、山内まどか
内 容	ルイス・キャロル原作「不思議の国のアリス」より 脚本・演出:立山ひろみ
席 設 定	465 席
入 場 者 数	443 人
入 場 率	95.27%
チケッ発売日	一般 5 月 11 日(土) フレンズ会員 5 月 4 日(土)
チケッの種類及び価格	[前売] 一般:1,800 円、フレンズ:1,500 円、中学生以下 800 円 [当日] 一般・フレンズ:2,000 円、こども 1,000 円 全席自由
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージで物を使って効果音を出しているのがおもしろかった。(40 代/女性) ・アリスの不条理の世界を分かりやすく、平易な言葉で表現しているのがよい。(50 代/男性) ・原作に忠実なアリスだなと思いました。ナンセンスな言葉の応酬が好きです。(20 代/女性) ・内容がよくわからなかった。夢オチというのも微妙。ちょっと難しい内容だった。 ・とてもおもしろかったです。赤ちゃんがかわいかった。女王様のセリフが耳から離れません。(男性) ・仕方ないとは思いますが、観に来ている周りの子どものしゃべり声など気になりました。(10 代/女性)
モニター評価	<ul style="list-style-type: none"> ・親子だけでなく大人のお客もいて、うりんこの人気を感じた。 ・衣装や舞台美術、ていねいにつくられていて良かった。時間が少し長い。トイレに立つ子やがやがや言い始める子もいた。
担当者コメント	<p>ジョイントフェスティバル愛知としての公演。4市町で行われた公演。劇団との協議により、劇団の関係者販売の料金を1割引に設定した。劇団の売上枚数は、186 枚。全4会場で最も多い観客数となった。うりんこの本拠地にも近いこともあり、長久手市周辺の住民に根強い人気があることを感じた。</p> <p>俳優がパーカッションにより、効果音を出すなどの演出が、アリスの不思議な世界をうまく表現していた。</p> <p>「話が難解」「子どもにはわかりにくい」というような感想も多かった。そもそもの「アリス」の話自体が、比喩的な表現が多く、全容を理解しづらいものであろう。奇妙な、おかしい世界を体感する公演であった。</p>
備考	8/3(土)に西尾市文化会館、8/10(土)に武豊町民会館ゆめたろうプラザ、9/8(日)豊川市御津文化会館ハートフルホールで、公演を行った。

長久手市文化の家自主事業報告書

公演名	二兎社公演 兄帰る
日時 / 場所	平成 25 年 9 月 8 日(日)17 時開演 森のホール
事業の種類	鑑賞事業
出演者	鶴見辰吾、草刈民代、堀部圭亮、伊東由美子、小豆畑雅一、枝元萌、藤夏子、二瓶鮫一 アフタートーク出演：永井愛、鹿目由紀（劇団あおきりみかん）
内容	演劇 作・演出：永井愛
席設定	569 席
入場者数	396 人
入場率	69.60%
チケット発売日	一般 7 月 13 日(土) フレンズ会員 7 月 6 日(土)
チケットの種類及び価格	[前売] 一般 A 席:5,000 円、フレンズ A 席:4,500 円、B 席 3,500 円 [当日] 一般・フレンズ A 席:5,000 円、B 席 3,500 円 全席指定
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今年、今までで一番心に刺さったお芝居でした。いい意味のトゲです。(50 代/女性) ・会話の妙を随所に感じました。伏線もうまいし、流石ですね。(20 代/女性) ・鶴見さんが上手い。額の裏を探す直前の立ち姿から、急に悪い男に変わるところか。役者ってすごい。(40 代/女性) ・永井さんの芝居いつも面白い。冷房がききすぎ。(60 代/男性)
モニター評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこまれます。よい劇だと思います。空き席があったのにはおどろきました。私の中ではこの劇は満席になると思っていたからです。 ・重い…見終わってしばらくココロが重く感じられました。あまりにも日常的な会話(出来事)で、つつい見のがしてしまいそうな現実、みごとに表現されていました。 ・草刈さんが美人でした。内容はおもしろかったです。PTA とか野球の母とか、私も経験あります。アフタートークがおもしろかったです。なるほどと思いました。
担当者コメント	<p>1999 年の二兎社の作品の再演。永井愛氏は、この作品で第 44 回岸田國士戯曲賞を受賞した。横領事件を起こして失踪した長男が 16 年ぶりに現れたことにて、翻弄される、弟夫婦と親族の姿を描く。責任を押し付け合う親族たちの滑稽で残酷な姿に対し、義兄の立ち直りを信じていたはずの義妹が裏切られる、緊張感あるラストシーンが見事であった。</p> <p>長久手市文化の家では、「シングルマザーズ」「兄帰る」に続き、3年連続で二兎社の公演を実施した。永井愛氏の代表作の再演ということで、話題性にも富んだ作品ではあったが、十分な集客にはいたらなかった。過去の作品に比べ、集客力のあるキャストというわけではなかったが、近隣の大垣市、豊橋市の公演が、長久手市よりも低額な料金設定とはいえ、満席という事態を見れば、原因が作品にあるとはいえない。</p> <p>アフタートークのゲストとして招聘した、鹿目由紀氏は、永井氏が憧れの劇作家で、かねてから交流があったこともあり、積極的に話がはずみ、的確な企画となった。</p>
備考	終演後、二兎社主宰の永井愛氏と劇団あおきりみかんの鹿目由紀氏による、アフタートークをギャラリーで開催した。

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	愛知県立芸術大学陶磁専攻「第3回柏緑会」
日 時 / 場 所	平成 25 年 9 月 10 日(火)から 9 月 16 日(日) 10 時から 18 時 展示室
事 業 の 種 類	提携事業
出 展 者	愛知県立芸術大学陶磁専攻 【卒業生】 久野笑加、熊澤文太 【博士2年】 兪期天 【大学院生2年】 稲垣唯志、朴鐘民、松下紘子、森本静花、屋我優人 【大学院生1年】 明石朋美、大石章生、酒井里奈、野中雅博 【4年】 柄澤あかり 【3年】 武二香、村山緑
入 場 者 数	445 人
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	入場無料・整理券なし
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・身近なところで芸術家が育ち、世界中にはばたくことは誇りです。(74 歳/女性) ・県立芸大素晴らしい。(76 歳/男性)
モニター評価	なし
担当者コメント	<p>平成 21 年度の初回依頼、隔年で開催しており、今年で 3 回目。搬出入、受付当番、ギャラリートーク、すべて学生や教員らが協力しあって運営されており、大学としての意識の高さが伺える。ギャラリートークでは出展者が 1 人 1 人順番に自分の作品をプレゼンし、それに対し教員が評価するもので、一般客の前でも深く指摘をしている様子は、何か新鮮な光景であった。</p> <p>来場者数は前回とさほど変わらず、今後の発展や広報の方法について考察すべきである。</p>
備考	9 月 14 日(土)13 時から、ギャラリートーク開催

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	長久手市敬老事業 海演隊落語会
日 時 / 場 所	平成 25 年 9 月 16 日(月・祝) 13 時 30 分開演 森のホール
事 業 の 種 類	普及・啓発事業
出 演 者	海演隊(雷門獅籠、雷門幸福、柳家三亀司)
内 容	落語、江戸曲独楽
席 設 定	650 席
入 場 者 数	319 人
入 場 率	49.08%
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	無料(招待状) 全席自由
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・実演を観ることは活気につながります。(70 代／女性／市内) ・落語会で一時の気分転換ができ、安らぎを感じました。(80 代／男性／市内) ・短時間の公演なので参加しやすい。(70 代／男性／市内)
モニター評価	なし
担当者コメント	<p>敬老の日の催事として、例年の敬老の日大会にかわり、市内在住の 75 歳以上の人を対象に実施したものであり、地元の大須などを中心に活躍し東海地区に演芸を広めるために結成された海演隊を選定した。伝統芸能で東海地区に「笑い」を広めることを目的に 5 人で結成された会だが、今回は、落語 2 名と江戸曲独楽 1 名が出演した。</p> <p>当日は、開場に先立ち敬老金の受け渡しなどが長寿課などにより実施され、また、事前に整理券の配布を行わなかったため、席設定を越える来場者を迎え入場を断る事態に陥ることが懸念されていた。しかし、大型台風の午前中の上陸が大々的に報道されていたこともあって、開催時間には天気は回復していたものの、予想をかなり下回る来場者数であり、結果的に、階段の昇降を必要とする 2 階席はほとんど使用せずに済んだ。</p>
備考	

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	平成25年度長久手市文化の家 絵画コンクール 小学生／中学生の部 受賞・入選作品展
日 時 / 場 所	平成 25 年 9 月 19 日(木)～23日(月・祝) 文化の家 展示室 10時から19時まで(最終日は17時まで) 中央図書館 ギャラリースペース
事 業 の 種 類	体験事業
内 容	絵画コンクール出品者の作品展示 【文化の家】47作品 【図書館】62作品
入 場 者 数	【文化の家】561 人 【図書館】236 人
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	チケット・整理券なし 入場無料
鑑賞者評価	「だいすき」というテーマが、子ども達の発想をかきたてていたのか、どれも素晴らしかった。(60代・女性・市外) 先生方のコメントを聞いたので、プロの目で見た良い点がわかりやすく聞く事ができて良かった。(市外) 身近にこういったコンクールがあると、子どものはげみになるので大変良かった。(市内) 子どもたちのそれぞれの個性を感じる絵！とても楽しく観ることができました。賞がある事も次のステップになるけれど、賞がなくても一歩行動した事を認めて下さるこの企画展が大変嬉しいです。(40代・女性・市内) 小学生らしい絵でとてもよかった。自然と笑顔になれた。(10代・男性・市内)
モニター評価	なし
担当者コメント	今回は「だいすき」というテーマで 109 作品の応募があり、5 人の審査員による公開審査にて、受賞作品 62 点を選ばれた。なるべく多くの作品を展示したいという意図から、昨年同様、全ての作品を展示し、多くの方にご来場いただき、大変にぎわった展示会となった。作品はどれも力作で、日常生活から題材をみつけ、それを自分の感性に画用紙いっぱいさまざまな「だいすき」が表現され、楽しさ・喜びに満ち溢れた作品が来場者の目を楽しませた。開館以来、毎年開催しているコンクールだが、設定されるテーマによって、子どもたちの描く作風や世界が変わるのは非常に興味深かった。
備考	公開審査会 8月20日(火)13:00 舞踊室 受賞者表彰式 9月21日(土)10:00 展示室

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	愛知県立芸術大学学生による 愛・知・絆チャリティーコンサートVI
日 時 / 場 所	平成 25 年 9 月 28 日(土)13 時 30 分開演(第 1 部) 16 時 30 分開演(第 2 部) 森のホール
事 業 の 種 類	提携事業
出 演 者	愛知県立芸術大学 大学生・研究生・大学院生
内 容	第 1 部 親子でたのしくクラシック プロコフィエフ「ピーターと狼」(編曲:高崎真介) 第 2 部 クラシックの名曲をお話とともに 器楽、声楽による名曲の数々 プロコフィエフ「ピーターと狼」(編曲:高崎真介)
席 設 定	517 席
入 場 者 数	第 1 部:84 人 第 2 部:52 人
入 場 率	第 1 部:16.25% 第 2 部:10.06%
チ ケ ッ ト 発 売 日	一般 7 月 13 日(土) フレンズ会員 7 月 6 日(土)
チ ケ ッ ト の 種 類 及 び 価 格	第 1 部 おとな(中学生以上):800 円、こども(0 才~小学生):200 円 第 2 部 一般:800 円、学生:500 円 全席自由
鑑賞者評価	<p>【第1部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども(3 才・5 才)にとって内容を理解するのは難しかったと思いますが、ゴソゴソしながら聴いていました。子どものためのこのようなチャンスがたくさんあると良いです。(30 代・女性・市外) ・未就学児はご遠慮くださいというコンサートが多いなか、未就学児 OK のコンサートはうれしいです。(30 代・女性・市内) <p>【第 2 部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞等のイベント情報に載せない。情報が行き届いていないのでは?せっかくのコンサートがもったいない。(60 代・女性・市内) ・長久手にある県芸大を応援する意味でも参加しました。頑張っておられる学生さんたちを見て励まされます。(60 代・女性・市内) ・もっとたくさんお客さんが来てほしかったですね。プロ意識を持って演奏されて素晴らしかったです。(30 代・女性・市外)
モニター評価	なし
担当者コメント	<p>2011 年度から実施している提携事業。今回はプロコフィエフの「ピーターと狼」をメイン曲に子ども(家族)向け、一般向けの 2 つのコンサートを実施した。公演チラシの完成が遅れ、文化の家の顧客への周知が十分にできなかった。さらにこの公演のチラシは翌日の室内楽の楽しみとの合同チラシとなっており、チラシ完成の遅れが室内楽の楽しみを集客にも支障をきたしてしまった。今後、室内楽の楽しみとチラシを分けるなど広報面での改善を求めたい。</p> <p>そのような状況の中、第 1 部の売れ行きはよかった。これは 0 才児から入場できるコンサートへの需要が高いことが考えられる。</p>
備考	

長久手市文化の家自主事業報告書

公 演 名	室内楽の楽しみ
日 時 / 場 所	平成 25 年 9 月 29 日(日) 15 時開演 森のホール
事 業 の 種 類	提携事業
出 演 者	愛知県立芸術大学 学部生・大学院生 19 名
内 容	R.シューマン ピアノ五重奏 変ホ長調 作品 44 第 1 楽章 ピアノ 波多翼(学部 3 年) ヴァイオリン I 福田菜々子(学部 3 年) ヴァイオリン II 松浦知佳(院 2 年) ヴィオラ 山田沙織(学部 4 年) チェロ 小林奏太(学部 4 年) F.シューベルト 岩の上の羊飼ひ D965 作品 129 ソプラノ 寒川さがみ(院 1 年) ピアノ 鈴木恵深(院 1 年) クラリネット 葛島涼子(院 2 年) N.モネルピアノ五重奏曲 ハ長調 遺作 第 1 楽章 ピアノ 斎藤もも(院 1 年) ヴァイオリン I 杉山怜(院 2 年) ヴァイオリン II 尾高誌音里(研究生) ヴィオラ 岩根衣季(院 1 年) チェロ 石本卓斗(学部 4 年) C.サン＝サーンス フルートとオーボエとクラリネットとピアノのためのデンマークとロシアの歌によるカプリス 作品 79 フルート 加藤菜月(学部 3 年) オーボエ 佐藤愛希(学部 3 年) クラリネット 鈴木亜美(学部 3 年) ピアノ 加藤麻里(学部 3 年) L.v.ベートーヴェン ピアノ三重奏 第 5 番「幽霊」ニ長調 作品 70-1 ヴァイオリン 松浦知佳(院 2 年) チェロ 下村祐輝(院 1 年) ピアノ 福本真弓(院 2 年)
席 設 定	517 席
入 場 者 数	224 人
入 場 率	43.33%
チケッ発売日	一般 7 月 13 日(土) フレンズ会員 7 月 6 日(土)
チケッの種類及び価格	[前売] 一般:500 円、フレンズ:400 円 [当日] 一般・フレンズ:500 円 全席自由
鑑賞者評価	<ul style="list-style-type: none"> ・出演者の今回のステージに対する想いを一言ステージで話してくれるとさらに聴く興味がわく。(60 代・男性・市外) ・5 つの演奏、プログラムに変化があってそれぞれ楽しめました。モネルの曲は初めてで新鮮でした。学生といえどプロ意識がみえて素敵な演奏会でよかったです。(40 代・女性・市外) ・レベルの高い音大生の演奏が安価で楽しめる長久手の環境を羨ましく思いました。(20 代・女性・市外)
モニター評価	なし
担当者コメント	<p>愛知県立芸術大学との共催で行う毎年恒例の事業。今年度は、7 月に開催された学内オーディションに合格した学部 3 年から大学院 2 年までの 19 名が出演した。</p> <p>例年行っていた演奏後のアフタートークを今年度は行わなかったが、アンケートで演奏者の言葉を聞きたかったというコメントが数件みられた。また、2012 年度から前日に行われるチャリティーコンサートとの合同チラシを大学側が作成している。今年度はチャリティーコンサートの内容決定が遅れた結果、合同チラシの完成も遅れた。その結果、広報活動に支障が生じ、文化の家の顧客への公演案内が十分にできなかった。そのような状況の中、ほぼ平年どおりの入場者数となったのは出演者の手売り分が多かったからだと思われる。アンケートでも「どこで演奏会を知ったか」という項目に対し、半数以上が「知り合い(出演者)から」と回答していた。</p> <p>昨年度同様、7 月と 9 月に出演者と文化の家職員でミーティングを行い、文化の家の事業としてコンサートを行う意義、具体的な経費やチケットの販売方法について話し合った。このミーティングを通し、参加者は大学の授業だけではできない経験ができたと思われる。</p>
備考	プレ企画として 9 月 15 日(日)にガレリアコンサートを開催した。